

授業概要

博物館における資料保存の意義と収蔵環境・展示環境について学び、資料の保存方法を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を習得して、博物館資料の取り扱いと保存に関する基礎的能力を養えるよう講義する。さらに、日本古来の伝統的資料保存方法、予防保存としての IPM の実施、資料保存のための危機管理と災害対策、環境保護と博物館の役割などについても解説する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス 博物館資料と保存価値
第 2 回	博物館における資料保存の意義と目的
第 3 回	資料の状態調査と現状把握
第 4 回	資料の修理・修復
第 5 回	資料の梱包と輸送
第 6 回	資料の収蔵
第 7 回	資料の展示
第 8 回	資料の保存環境と劣化要因
第 9 回	生物被害と IPM (総合的有害生物管理)
第 10 回	災害の防止と対策① 人災とその予防
第 11 回	災害の防止と対策② 自然災害と安全対策
第 12 回	資料の伝統的保存方法
第 13 回	地域資源の保存と活用
第 14 回	自然環境の保護と博物館の役割
第 15 回	授業の総括 博物館資料保存の課題
第 16 回	筆記試験

到達目標

博物館資料保存の意義を理解し、資料保存に関する実際的な方法を学んで、資料の取り扱いに習熟し、展示および収蔵の環境を整える基礎的能力を習得する。
また、日本古来の伝統的な資料保存方法や IPM の知識、危機管理や災害対策について具体的に理解し、職務や日常生活において応用できるようになるとともに、「文化財を守り、伝える」ことの意味を深く理解する。

履修上の注意

遅刻・欠席をしない。博物館概論の知識を身につけておくことが望ましい。

予習・復習

博物館を訪れた際には、資料保存の観点から「資料がどのように守られているか」について留意しながら展示を見るよう心がける。

評価方法

学期末試験 80%、受講態度 20%。

テキスト

教科書は特に使用しない。授業内に参考文献をあげ、適宜資料を配布する。